



岡山旭東病院  
マスコットキャラクター  
「モモコ」

# 健康 讃歌

by 岡山旭東病院

二人の看護師が東日本大震災の被災地へ。  
命の尊さをあらためて実感。

今年、三月十一日に発生した東日本大震災から五か月後。岡山県青少年ボランティア派遣事業実行委員会の要請により、当院の看護師二人が被災地の陸前高田市へ向かった。期間は八月八日から十二日までの五日間、現地には三日間の滞在となった。「ボランティアの総勢は五六人。そのうち高校生は三九人、大学生・専門学校生が四人でした。私たちの任務は、全員の健康管理とサポート。盛岡市の宿舎から被災地までバスで片道三時間、炎天下のなか、ガレキの撤去作業を行なうボランティアに帯同してサポートしました」と語るのは山本清美主任看護師。当院の脳卒中センターの中心的存在として十三年のキャリアを誇るベテラン看護師だ。

現場での活動内容については、浅越博之看護師が語ってくれた。「一番注意したのは睡眠不足と熱中症。健康チェック表を使って、血圧測定や脈拍チェックを頻繁に行ない



本館3階脳卒中センター  
主任看護師 山本清美



ICU 看護師  
浅越博之

ました。あと、釘を踏んで破傷風になるケースが危惧されたので、インソール入りの長靴や軍手など、装備にも気を配りました。消毒セットや添え木など、トランクいっぱいには衛生材料を携えての三日間でした」。たまたま直前の七月に災害看護の研修を受けた浅越看護師。その時、被災地で一番にすべきことのひとつとして教えられたのがトイレ掃除。「掃除グッズを持参して、現場の仮設トイレを掃除しました。人間はトイレが汚いと無意識に飲食を控えるようになります。それで体調を崩すのを少しでも防ぎたかったです」。

三日間という短い期間だったが二人が実感したのが「命の尊さ」。看護師という仕事は毎日、命と向き合う仕事だが、テレビの映像とは違う現実の被災地に身を置くことで、あらためて命を守る大切さを感じたという。今回、病院としても二人の派遣を全面的にバックアップ。スタッフの成長が次なる医療向上へつながる。それが岡山旭東病院の変わらぬ思いだ。

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六二七六・三三三三

<http://www.kyokuto.or.jp>



## 倉田交差点南100m、11月1日新築開院！ 岡山リハビリテーション病院

11月1日(火)の新築移転後は、すべての病棟がリハビリ専門病棟(回復期リハビリテーション病棟:

3病棟計129床)となります。看護師などのスタッフも増員し、より質の高いリハビリテーション提供体制を整備、患者さまやご家族、他医療機関のニーズにお応えできる病院をめざしています。新病院には先進の療養環境・設備機器はもちろん誰もがご利用しやすいアメニティも充実。最新の耐震構造、高度なセキュリティシステムを採用しました。また岡山市内では初めてのオール電化病院、万一の災害(震災・津波など)に考慮した建物に仕上がっています。  
(<http://www.okayama-reha-hp.or.jp>)

### パッチ・アダムスホール (院内1階多目的ホール) イベント案内

- ◆源氏物語 朗読  
「源氏物語の世界へようこそ」  
10/27(木) 14時～14時50分
  - ◆岡山旭東病院 病院見学ツアー  
10/28(金)・11/25(金) 13時～15時半
  - ◆第30回 園芸教室  
11/12(土) 14時～15時半、材料費1,000円
  - ◆ピアノ・フルート演奏会  
11/15(火) 13時半～14時
  - ◆健康教室  
「生活習慣を見直しませんか？」  
11/19(土) 13時半～15時
  - ◆第4回 心肺蘇生講習会  
11/19(土) 15時半～16時半
  - ◆第15回 転倒予防健康教室  
11/22(火) 14時～15時
  - ◆及部恭子ジャズトリオコンサート  
12/2(金) 14時～15時
  - ◆睦子・G・バルディ クリスマスコンサート  
12/22(木) 14時～15時
  - ◆おかやまあかいはな道化教室  
12/25(日) 13時～16時、参加費3,000円
- ※感染症の流行状況により、イベントが中止になる可能性があります。参加される際は事前にホームページでご確認ください。  
※どなたでもご参加いただけます。コンサート以外は事前にお申込みをお願いします。  
お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231